



令和6年度 第2回 「在宅介護者のつどい」が 開催されました！

「在宅介護者のつどい」は、在宅で高齢者や障がい者の方を介護されている方を対象とし、介護上の悩みや相互の介護経験を話し合うことで介護疲れを癒し、心身のリフレッシュを図ることを目的として、清里町社会福祉協議会が開催している事業です。

第2回目となる今回は、令和6年12月11日（水）から12日（木）の日程で弟子屈町川湯にあるお宿欣喜湯別邸忍冬で開催され、6名が参加されました。

交流会では家事負担や体調の変化への対応、介護者自身の高齢化問題など日々の悩みや自身の経験を話せる場となり「気が楽になった」「今後もこのような機会を設けてほしい」という声が聞かれました。

年に2回ほど開催しているこの事業は、来年度も継続して開催予定です。近くなりましたら、開催のご案内を送付させていただきます。ぜひリフレッシュの場としてご活用ください。

お酒を飲みながら、談話のひととき...

